

令和８年度小松市立蓮代寺小学校　学校評価 2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・８月提出）	取組の成果と課題（年度末・３月提出）
生徒指導	<いじめの積極的な認知と早期対応>		
	・学期に1回いじめアンケートと担任による個別面談を実施する。 ・軽重に関わらず、いじめの訴えがあったものについて対応記録をとり、その都度情報共有を行う。		
特別支援教育	<支援を必要とする児童の指導・支援の充実　　>		
	・年間3回校内支援委員会部会を開催し、複数の職員で共通理解を図りながら、支援の必要な児童の支援について検討する。 ・支援が必要な児童については、必要に応じて支援会議を開催し、誰がいつ、何をするのかを協議し、支援の充実を図る。		
道徳教育	<授業を中心に教育活動全体を通して道徳教育の充実を図る>		
	・道徳授業の指導法について校内研修会を年1回以上行い、指導力の向上を目指す。 ・保護者に年1回以上の授業公開を行ったり、道徳通信等で重点内容項目の授業のふり返り等を紹介したりして家庭との連携を図っていく。		
読書教育	<多くの本にふれ、読書習慣を確立する>		
	児童が良書に親しみ、読書への関心を高めることをねらいとし、毎週木曜日の朝学習を読書の時間としたり、チャレンジ10冊に取り組んだりすることを通して、多くの本に触れる機会を作る。		
キャリア教育	<学校の特色を生かし、計画的にキャリア教育を推進>		
	SDGs、キャリア教育の視点を意識して各教科や総合的な学習の時間に外部講師を招聘したり、見学に行ったりして社会とつながり、よりよい未来を拓く児童の育成を目指した体験活動を学期に1回以上行う。		
保健健康教育	<自分の心と体の状態を理解し、適切に対処できる子を育む>		
	・学期に1回、心のアンケートやおでかけ心のポストを実施し、結果を学校全体で共有し、有効に活用する。		
ICT活用	<　ICT機器の日常的な活用　　>		
	・学習用端末の持ち帰りを実施し、Qubenaやドリルプラネットを活用し、基礎基本の定着を図る。 ・授業実践交流を各学年で実施し、職員のICT機器の活用スキルを高める。		
家庭・地域の連携	<学校教育活動におけるSDGsの取組を発信>		
	・ユネスコスクールとしての教育実践を地域に発信し、特色ある学校のとりくみを紹介する。		

学校関係者評価	
---------	--